

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを合わせて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム東谷山
(ユニット名)	3階
所在地 (県・市町村名)	鹿児島県鹿児島市東谷山二丁目49番10号
記入者名 (管理者)	田中 忠治
記入日	平成 21年 01月 29日

(様式1)

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域のなかでその人らしく暮らし続けられるよう支援できるサービスを提供できるように理念を作成している	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を日々唱和して実践に取り組んでいる	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	家族の方はもちろん地域交流会や町内会等への広報に努めている	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の美容室での散歩時や公園への散歩町内会の清掃参加時に近隣の方と話したり、気軽に立ち寄って頂けるよう声かけしています	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、老人会や行事、近隣公園の清掃活動への参加により地域の方々との交流の場を設けたり又、地元の中や高校より職場体験研修を受け入れ若い方々との交流の場を設けています	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域推進会議等に町内会や民生委員の方に参加いただき、地域の高齢者の方々の相談等への協力対応可能である事の説明を行っています	○	町内会、老人会、夏祭り等へも積極的に参加していきたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員会議や勉強会を通じ評価改善に活かせるよう努めています		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町内会、民生委員、家族等と懇談、会議を行い努力している	○	地域でお茶会を催すことになったが実現できなかったのもまた機会を設けたい
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の保護課、市の社協の福祉サービス支援員（入居料等の後見制度）と緊密に連携をとっているが、市町村担当者等の運営推進会議への参加などの課題がある	○	市町村担当者との交流の場を設けたい
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるように支援している	関連セミナー実践時には積極的に参加し学んでいます。また市の社会福祉協議会の行う福祉サービス支援事業を活用し利用者の権利擁護に努めています		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会等への参加に努め、受講後のスタッフミーティングで発表、検討、防止に努めています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には事前に見学していただいたり、利用者やご家族の方の意見や要望、疑問点について伺い十分な説明を行っています又、解約後の相談についても応じています		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情受付窓口を設置。契約書に行政の苦情受付機関明記、苦情受付BOXなどの設置などで外部の受付先も案内している		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時の報告やご家族が遠方者の場合には電話やホーム便りを通じて利用者の日常の暮らしぶりや健康状態をお伝えしています		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	外部の相談機関として県、市、社協などの連絡先を掲示しています。又面会時や家族会の際、意見や苦情を言える機会を設けています		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会議や日々の業務のなかで意見を広く聞いて改善に努めている		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	各ユニットごとに固定したスタッフ確保、兼務スタッフも配置する事で確実な人材確保ができるようにローテーションを組んでいます		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>ユニットごとに半数以上固定スタッフを置いている</p>	
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>各種研修を案内し、重要な研修は業務として参加</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム勉強会（鹿児島市 谷山地区）に参加し、交流の場を設けサービスの質の向上に反映できるように努めている</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>スーパーバイザー等の導入はないが、職員相互の親睦、悩みの聴取など働きやすい環境の整備に努めています</p>	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>各職員が楽しく働けるように職員の公私の問題も相談を受け、勤務状況も考慮して業務に対する向上心をもてるように環境整備している</p>	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>本人との面談により要望や悩み、不安等について聴取したり、医療機関の情報提供を受け、利用時に柔軟な対応と信頼関係が構築できるように努めています</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前の電話や相談に応じ、ご家族の意見や要望、抱えている不安を聞き入れ受け止める機会を設け、後見人制度への利用等のアドバイス等も行っています		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	医療機関の情報提供や介護認定時の認定調査票・主治医意見書（本人、家族同意の下）開示により管理者を交え検討、他のサービス利用も含めた対応に努めている		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	可能な限り本人に見学していただき、他の利用者とお茶を飲みながら交流、ホームの雰囲気を感じてもらおう。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者を人生における先輩と敬い、常に本人の立場で喜怒哀楽を共感し合う関係を築いています		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の面会、ケア会議などへの参加を通じて家族と連携を図っています。又可能な限り病院受診、衣替え、墓参りなど家族の参加を行っています		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会や電話対応などの頻度を配慮し、より良い家族関係が築けるよう支援しています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族に定期的に面会や外出を依頼し、馴染みの場所への訪問、ドライブ、散歩などを取り入れ、本人の思いを大切にしています		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	レクリエーションや野外レクを通じて共通の趣味、興味を引き出し、それぞれの個性を把握することで利用者同士の関わりが円滑に行えるようにしています		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	ホームを退居された後も利用者や家族の相談窓口となり関係継続しています。又場合によっては移転先（病院など）に職員が訪問しています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思い入れや希望を取り入れ、意向の把握に努めています。意思確認困難な場合は家族からの情報をもとに検討しています		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の情報提供や家族・本人からの聞き取りによりこれまでのサービス利用の経過把握に努めています		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	その時々により心身状態、活動状態、日々の過ごし方に変動が見られるので、日常の状況を常に把握し総合援助につなげています		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当ケアワーカーをそれぞれ立てケアに当たらせ、本人、家族、主治医等必要な関係者との話し合いを設け、それぞれの意見やアイデアを反映させた介護計画を作成しています	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	三ヶ月ごとのケアプラン評価、六ヶ月毎の評価見直し、一ヵ月毎に担当ケアワーカーによるモニタリング評価を行い、必要に通じ現状に即した対応ができるように家族や関係者を交えて検討し、新たな計画を作成しています	
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録によるケアの実践や結果、工夫、気づきの情報を共有し日々の介護計画の見直しに活かしています	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本来家族が行う各種手続きや、物品購入などさまざまな場面で、家族の年齢なども考慮して柔軟な対応に努めている	
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	市保護課、市社協、などと本人の状態に合わせて対応している	
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の意向や状態の必要性に応じて、在宅マッサージ、訪問カット等の支援を行っています	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	○	包括支援センターとの関係を密に図る
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	事前の情報提供や住居移転先関係者はもちろん家族及び本人との十分な話し合いを行い、新しい環境によるダメージの予防に努めています	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	十分に配慮した言葉かけや対応を行っています。	
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	それぞれの希望、要望が表出できるよう日常の表情や感情をくみ取り、本人の判断、意思決定を尊重し納得した暮らしが送れるような支援に努めています。	
52	<p>○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	日常の日課という原則にとらわれず、個人個人の体調やペースに応じた生活を尊重、優先して過ごしていただけるよう支援しています。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	それぞれの好みを優先し衣類の選択、身だしなみを支援し、理容、美容は馴染みの店を利用したり、訪問サービスを利用する際は個人の要望に沿ったカットをしていただけるよう支援しています。	
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	栄養管理に留意しながらもそれぞれの好みや咀嚼、嚥下状態にあわせた調理で、食への楽しみが維持でき、簡単に参加できる調理補助、下膳、片付け等個々の持てる力を活かしています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	タバコに関してはホール施設内禁煙としている為支援できない状態ですが、お酒（晩酌や催し時）は主治医の許可を得て取り入れ、おやつや飲み物等も身体状況に応じ楽しめるよう支援しています。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	日常の排泄リズムを把握しトイレで気持ちよく排泄できるよう支援しています。又、本人の希望によりリハビリパンツの着用希望の方には意思をくみ取り着用していただきながら、失敗のないよう誘導したり、居室位置の配慮する等工夫しています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	時間帯に関しては見守りや事故防止の為ホーム指定の時間となりますが、曜日や回数については一人ひとりの希望やタイミングに合わせ楽しめるよう支援しています。外部の温泉利用の希望が一部あるのが課題	○	温泉の好きな方が多いので温泉での入浴を楽しむ機会を設けていく。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	安眠や休息が安心して取れるよう居室内の配置替えや一人ひとりの生活習慣、その時々状況に応じた対応が行えるよう支援しています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ホーム内活動でも一人ひとりの役割を持っていただく事で張り合いや自信をつけていただいたり、趣味や楽しみを取り入れ気晴らしにつながられるよう支援しています。漬物づくりなどの慣れ親しんだ家事の実現が課題	○	漬け物の大好きな方にぬかどこを用意しぬか漬けを始める事で楽しみを増やしていく。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ひとりひとりの力に応じ自己管理（お金の所持）。可能な方は所持していただきます。物盗られ症状の強い方にはホームにて管理し外出時やお買い物時に使っていただいています。		


項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	○	日帰りの温泉旅行を計画中である。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している		
(4)安心と安全を支える支援			
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる		通状日中の玄関への鍵はかけないが、状況によりやむなく鍵をかける事もあります。(表に交通量の激しい道路が面しており、建物横のT字路での交通事故多発の為)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	個人個人のプライバシーに配慮しながら利用者の様子や所在の把握、安全確保に努めています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	それぞれの認知判断力に応じ対応しています。 (裁縫が趣味の方は針の本数、ハサミ等の確認を行い危険予防に取り組んでいます。)		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人ひとりの状態を把握し危険因子となりうる事を常に想定した対応が出来る様勉強しています。		
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時や事故発生時の対策マニュアルを作成し応急手当や初期対応の勉強会を行っています。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の消防隊と密接に連携して防災訓練を行っている。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	定期的なサービス担当者会議を実施し利用者の現状把握、今後のおこりうるリスクについてご家族への説明、対応についても随時話し合っています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェック、食事摂取量、水分摂取量排泄チェック、顔色などにより異常の早期発見に努め、速やかな対応に結び付けています。	
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	スタッフそれぞれが入居者個別の内服薬の 効能、副作用、容量等について気をつけ、主治医の指示どおりに服薬支援し、症状の変化確認に努めています。	
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便通の良い食事やおやつを提供、腸蠕動運動への働きかけや歩行練習、トイレでの排泄習慣への取り組み等工夫しています。	
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアを行い、磨き残しや歯周病の予防に取り組む、必要に応じ歯科医師の訪問診療や定期健診、口腔ケア指導を受け口腔内の清潔保持、その必要性について理解し支援しています。	
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	主治医の意見や個人の食習慣を聞き取り、状態や能力に応じた食事形態、量、水分量等が確保出来る様支援しています。又、管理栄養士による栄養指導や、カロリー計算にそう食事の提供を行えるよう努めています。	○ 協力機関との連携を図り、定期的な栄養指導や調理指導を受けられる体制を確立していきたい。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症対策マニュアルを作成し対応、実行しています。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒の予防に調理場や調理用具の衛生管理、冷蔵庫内の温度管理はもちろん、新鮮で安全な食材の使用、調理法に努めています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	小さいながらも花壇を作り草花を植えたり、プランターを利用した家庭菜園を造っています、親しみやすく安心して出入りできるよう工夫しています。		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には、自由に過ごせ不安な音や光を受けないよう配慮し、生活感や季節感を感じる水槽や花、観葉植物、装飾等を施し、心地よく過ごせるよう工夫しています。		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間にはソファやミニテーブル、椅子のコーナーがあり、思い思いに過ごせる居場所の、工夫、確保を行っています。		
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはカレンダーや写真等を飾ったり、使い慣れた家具、備品が持ち込まれ、安心して過ごせる環境を造っています		
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	冷暖房の温度調整は天気や時間、利用者の体調によって細かく調整したり、空気のだよみや臭いには換気を行い場所に応じ消臭剤や気持ちの落ち着けるお香、アロマオイル等を用いています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かし て、安全かつできるだけ自立した生活を送れる ように工夫している	入居者の生活行動に配慮し安全で自立した生活が 送れるよう手摺りや歩行訓練用の平行棒を設置 し、一人ひとりの身体機能を活かせるよう工夫し ています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失 敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫してい る	居室にはそれぞれ花の名前と本人の名前が明記し てあり、トイレにも分り易く表示し、又混乱を招 きやすい非常ベルや危険な物には布や造花等で覆 う等の工夫をしています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだ り、活動できるように活かしている	ベランダの設置がないので1階駐車場入り口の スペースを利用し日光浴を楽しんだり、家庭菜園 コーナーでの草取り、水まき、洗濯物干し等の活 動が出来るようにしています。	○	構造上の問題もあるが、屋上の利用など 今後検討していきたい

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目

項 目		回答
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ②ほぼ全ての利用者の ③利用者の2/3くらいの ④利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① ②毎日ある ③数日に1回程度ある ④たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ②ほぼ全ての利用者が ③利用者の2/3くらいが ④利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	① ②ほぼ全ての利用者が ③利用者の2/3くらいが ④利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ②ほぼ全ての利用者が ③利用者の2/3くらいが ④利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ②ほぼ全ての利用者が ③利用者の2/3くらいが ④利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない

項 目		回答
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ②ほぼ全ての利用者が ③利用者の2/3くらいが ④利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ②ほぼ全ての家族と ③家族の2/3くらいと ④家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	① ②ほぼ毎日のように ③数日に1回程度 ④たまに ④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	① ②大いに増えている ③少しずつ増えている ④あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	① ②ほぼ全ての職員が ③職員の2/3くらいが ④職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	① ②ほぼ全ての利用者が ③利用者の2/3くらいが ④利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ②ほぼ全ての家族等が ③家族等の2/3くらいが ④家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

入居者の医療的な側面を各種病院と連携して重点的に取り組んでいる。又日常の取り組みとして足浴や近場の足湯に出かけ血液循環を促し、薬に頼らず行える下肢浮腫の予防・改善に努めている